

【貸館における感染防止の具体策 ★主催者へ、ご協力お願いします】
〈ギャラリー版〉

(公財)日本博物館協会のガイドラインを参考に、
 主催者が講ずるべき具体策について参考として以下に例示します。

■来場者の安全確保の具体策	備考
(1) 来館前の検温実施の要請や、来館自粛を求める条件を事前にHPなどで周知する 施設の入り口に明示する 〈自粛例〉・発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合 ・過去2週間以内に感染拡大の国や地域への訪問歴がある場合	
(2) サーモグラフィー等による来館者に対する検温を実施 一定値以上の発熱がある場合はお断りする	・非接触型電子温度計4個有 (全館共通)
(3) 万が一の感染者発生の場合、来場者への注意喚起を行える体制を講じておく (HP告知等) ・来場者の氏名及び連絡先を記載した名簿作成(日時も記録する) ・必要に応じて保健所等公的機関へ情報提供される可能性を事前に周知 ・接触確認アプリ(COCOA)のインストール促進を促す	・個人情報の扱い注意
(4) 咳エチケット、マスク着用、手指消毒等の要請をする	
(5) ペン類や貸出物などは消毒を行う、不特定多数での物品共有使用はなるべく中止する	
(6) パンフレット、展示品リスト等の配布物は手渡ししないで据置きにする	

■スタッフの安全確保の具体策	備考
(1) 来館していた日時と連絡先の把握	・個人情報の扱い注意
(2) 来館前の検温を促す 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合は自宅もしくは宿泊先に待機	
(3) 咳エチケット、マスク着用、手指消毒等の要請をする	
(4) 運営に必要な最小限度の人数にする	
(5) 貸出備品(ワイヤー、フック、スポットライト等)使用の際は手袋や軍手を着用する	
(6) 感染者(もしくは感染が疑われる者)が発生した場合は情報提供に協力する ・公演関係者の氏名と連絡先をリストアップ準備 ・必要に応じて保健所等へ情報提供される可能性を周知	

■会場内で留意すべきこと	備考
(1) 来場者同士の距離を確保する工夫(2m、最低1m)	
(2) 直接手で触れる展示物は感染リスクが高いため原則展示しない	
(3) 誘導や人数制限を設ける等、来場者が滞留しない為の措置を講じ、十分な換気に努める	
(4) マスク着用、手指消毒、会話制限を促す	
(5) ロビーでの飲食の提供は行わない	・当面の間、お茶道具の貸出し しない(ポットのみOK)
(6) 物販を対面で行う場合、アクリル板などの対策をとる 多くの人が触れるサンプルや見本は置かない	

※今後の感染者状況によって、内容に変更修正が生じる場合があります。